

Improving Health for ALL

— すべての人を健康へ導くために —

ながさき総合診療専門研修プログラム

病いを診るだけでなく、その人や家族の暮らしを設計・建築していく。
「総合診療医」として、ひとびとの「あたらしい生活」を創っていきませんか。



自分は将来どんな医師になるのだろうか？どんな専門が向いているのか。
 病院で働くのか、クリニックで働くのか。開業という夢もある。
 どんな傷病も診られる医師になりたいけれど、得意分野も身につけたい。
 やりたいことはあるけれど、今は自信がない…

そんな不安と希望のなかで選択を迷っているみなさんへ。

「総合診療医」という あたらしい自分の未来を 想像してみませんか。

総合診療医の仕事は、病いを診るだけでなく、
 暮らしの中の困りごとや家族の悩みにも応える「なんでも相談所」。
 また、患者の生活や治療のプランを設計・建築していく仕事でもあり、
 外来・入院・在宅などさまざまな場で、中心的な存在として指揮をとる
 医療の「現場監督」でもあります。

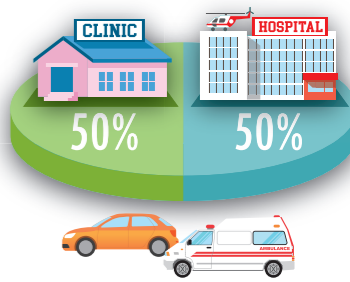
「ながさき総合診療専門研修プログラム」は長崎県全域で学びを支援する
 日本専門医機構に準拠した総合診療専門医育成コースです。

多岐にわたる現場経験を積み上げて、将来の選択肢を広げていく。
 そして、ひとびとにとっての、あなたにとっての
 「ウェルビーイング」を一緒に創っていきませんか。



病院？診療所？研修修了後の勤務先。

総合診療専門研修プログラムを修了した専門医のうち、
 半数が「家庭医」、もう半数が「病院総合診療医」になっています。
 また、病院で経験を積んでからクリニックや診療所へ就職する人も、
 その逆のステップをたどる人もいます。
 将来のキャリアプランは、幅広く自由を選ぶことができます。



家庭医
クリニック/診療所
FAMILY PHYSICIAN

患者個人の治療はもちろん、
 その生活を支える家族もまろごとケア。
 病いには、背景があります。日常生活における
 心理的な悩みを抱える人も増えるなか、
 家族の関係性や職場の環境など、病いの根っこに
 アプローチする医療が求められています。
 守備範囲は、保健や福祉、介護にとどまらず、
 住宅環境や働き方、まち全体の行政計画にまで
 広がっているのです。求められるのは
 住民の医療ニーズを把握し、
 それを地域に反映する力です。
 日本プライマリ・ケア連合学会ホームページより

病院総合診療医
HOSPITALIST

病院総合診療医は病院での入院と外来診療を
 担当します。高齢化によって複数の疾患をもつ
 患者さんが増えています。たとえば心不全と肺炎を
 もつ患者さんのように担当科が複数に
 なることで連携が難しくなることがあります。
 一括して病院総合診療医が各科、多職種と連携して
 複数疾患や境界領域疾患を担当することが
 患者のケアの質を高めます。
 患者さんを生活者としてみる視点をもって、
 心理的・社会的な問題を見渡した
 対応をすることでよい医療が提供できます。

「ながさき総合診療専門研修プログラム」は、さまざまな不安や希望に応えます。

- 1

膨大な領域の知識をすべて勉強することになるのでしょうか...?

診療に必要な知識、技能のことをコンピテンシーと呼びます。医学知識は膨大ですので、すべてを学ぶ時間はありません。とくに総合診療の領域では、3年間の限られた時間の中で「現場で必要とされるコンピテンシー」を効率的に獲得できる Outcome-based learning (アウトカム基盤型学習) で研修をします。研修の中で定期的な学習機会があり、研修修了時には誰でも「総合診療専門医に求められる目標レベル」に到達できます。

- 2

得意分野（専門性）も身につけたいのですが…

将来幅広い領域で活躍するために、自分の志向に合わせた Special Interest（得意分野）もしっかり持つことができます。とくに、COVID-19 を含めた感染症診療、家庭医として地域や家族に密着した診療所や在宅専門スタイルの診療、急性期も広くカバーするホスピタリストスタイルでの病院総合診療。また、「総合診療の研究」としてアカデミックな臨床研究・長崎大学の掲げるグローバルヘルス分野などを習得できます。研修修了後も、サブスペシャリティ研修の継続によって更なる専門性を高めていくことができます。

- 3

身近な指導医や仲間のコミュニティーが欲しい！

プログラムでは指導医のサポートを受けながら、先輩や同期の仲間とコミュニケーションを深めることができます。そのほかにも、研修仲間は全国にいます。現在日本プライマリ・ケア連合学会、病院総合診療医学会を中心とした専攻医や専門医、指導医とのネットワークがあるのも魅力の一つです。この繋がりは将来の大きな財産となります。学生や初期研修医対象のセミナーもあり、その企画運営に携わることもできます。

- 4

将来のキャリアプランに不安があったり迷っている場合は？

総合診療専門医のニーズは非常に高く、修了後のキャリアは大学、総合病院、クリニックなど活躍の場は豊富です。医局として個人個人の得意分野や希望、ライフサイクルに応じたキャリアプランを提案しますので、じっくりと将来のキャリアについて考えながら選択することができます。

研修モデル

- 3年間のプログラム
 総合診療科 18ヶ月（大学や連携施設である地域病院での研修）、内科 12ヶ月、小児科 3ヶ月、救急科 3ヶ月で構成
- 選択研修（緩和ケア・整形外科・精神科・産婦人科・海外研修など）も可能
- J-OSLER や J-GOAL などの電子媒体を用いた研修支援システムを活用
- 経験省察研修録（ポートフォリオ）を作成し、形成的評価で学びを支援
- オフザジョブトレーニングとして学会等主催によるセミナーや長崎県ポートフォリオ研修会などへの参加



■ながさき総合診療専門研修施設

離島グループ ①②③④
 離島・へき地における暮らしに密着した総合診療
 医療・介護支援の有効活用と連携

長崎グループ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮
 多彩な社会・生活環境下での患者の健康問題を
 俯瞰的にコーディネート
 臓器別専門医と連携した幅広い医学的アプローチと
 心理社会的アプローチ

県北・佐世保グループ ⑤⑥⑦⑧⑨

県東・県南グループ ⑯⑰⑱⑲⑳
 患者に密着した包括的医療ケア
 病診連携を通じた広域的医療システム

MESSAGE — 指導医・専攻医より —



前田 隆浩 プログラム責任者 長崎大学病院総合診療科 教授

地域医療に従事していてつくづく感じるのですが、総合診療は患者さんに近く、地域で頼りにされる医療分野です。今後、ますます必要とされるでしょう。このスキルを得るために、「ながさき総合診療専門研修プログラム」にはコアとなる研修内容はもちろん、多くの連携施設の持ち味を活かした多彩で発展的な研修を盛り込んでいます。このプログラムに参加して、患者さんや地域の方々に近い医療に触れ、「まずは先生のところに来ました」と言われる医師になってみませんか。



山梨 啓友 プログラム副責任者 長崎大学病院総合診療科 准教授

長崎大学病院総合診療科へようこそ。当科は大学病院で外来・入院・在宅医療を受け持ち、とくに感染症に強い総合診療医を育成しています。都市部から離島・へき地まで様々なセッティングで研修ができますので、描けるキャリアビジョンも多様です。生物学的な問題だけではなく、心理社会的な健康問題で困っているひとを診療する能力は、総合診療の重要な役割のひとつ。幅広い対応能力をもって、「日本・世界中のすべてのひとの健康をまもる医師」を一緒に目指しましょう。



小笹 宗一郎 プログラム卒業生 長崎大学病院総合診療科

総合診療医の活躍の場は多岐に渡ります。場に応じて求められるスキルを発揮することは総合診療医の特性の一つです。他の専門診療科の意見を聞きながらも自分が主治医として責任を持ち、最後までマネジメントする意識を自然と持てるようになります。また、幅広い鑑別を挙げて精査を行なう必要のある診断困難症例も多くあり、非常に興味深い症例を経験できます。分からないことに対しどう立ち向かうか、対処するかを考えることも醍醐味です。さらに、COVID-19診療や感染症コンサルト等を通して感染症の診療能力を身に付けることができ、魅力のあるプログラムだと実感しています。



GENERAL MEDICINE
NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科総合診療学分野 長崎大学病院 総合診療科

Department of General Medicine Nagasaki University Hospital



総合診療科
QRコード

研修・入局に関するお問い合わせ

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻 総合診療学分野
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 病院本館12階 医局受付

TEL 095 (819) 7591 FAX 095 (819) 7372

E-Mail sousin@ml.nagasaki-u.ac.jp

URL <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/soshin/>



▲プログラムの
詳細はこちら

専攻医募集中!